

第 2 回木曾三川整備計画策定説明会で頂いた意見等

平成 19 年 10 月 3 日現在

県名	市町名	意見・要望内容	備考
愛知県		「水利利用の合理化」について、その具体的な内容によっては判断が異なってきます。 基本方針（案）と同様、今渡地点での流水の正常な機能を維持するための必要な流量も検討して下さい。	
		各分野がそのまま独立して整備メニューを整理されているため、横のつながりが欠けている。特に環境の分野については、単なる整備メニューの項目ではなく、治水、流水管理・水利用、維持管理それぞれの分野において、環境への配慮と連動した考えが必要と考えます。	
		「伊勢湾の再生」の具体的な取組内容や、流域委員会でも意見の出ている「環境については伊勢湾を含めた広いスケールで捉え、特に流量が伊勢湾の環境に与える影響を考慮すること」について、整備計画への反映を検討して下さい。	
愛知県	犬山市	計画区間について 「大臣管理区間並びに本計画の目標の達成に必要な施策を講じる必要がある指定区間及び流域」となっているが、大臣管理区間以外について積極的に整備をすすめていただきたい。	
		治水の目標について 目標流量を流下させるために具体的にどの区間を整備するのか、どのように洪水が解消されるのかはこのたき台からは読み取ることができないが、目標としている昭和58年9月洪水において、当市においても浸水被害が発生しており、その浸水解消を図るよう整備をすすめていただきたい。	
	弥富市	木曾川の流れのボトルネックとなっている国道1号の尾張大橋の架け替えと周辺堤防の早期整備をお願いします。	
岐阜県		<p>○意見① 2-1を選択すべきである。 【意見①の理由】 現時点では遊水地計画が具体的に提示されていないこと、遊水地計画に対する地元意見が十分把握できていないこと、遊水地計画の影響（社会的影響、環境への影響等）が提示されていないことから、今回の河川整備計画では、河道で対応すべきである。</p> <p>○意見② 河川管理者として2-2を選択する理由を明確に示していただきたい。 【意見②の理由】 「河川管理者としての選択」では、選択理由が「財政の制約、効果の早期発現などを勘案」しか示されておらず、選択理由を明確に示していただきたい。 特に遊水地整備については、基本方針で示す遊水地計画とその進め方を明確に示していただき、それに対する、地元意見、社会的影響、環境への影響等を議論した結果を提示していただきたい。 地元意見については、遊水地整備予定市町で、ふれあい懇談会や説明会を開催するなど、意見を聴取していただきたい。 遊水地は、社会的影響が生じると思われるが、明確に把握できていない。例えば、岐阜県は、大交流時代の活力を取り込む等、地域経済活性化にむけた取り組みを行っており、その一つに東海環状自動車道西回りルートがある。この開通にあわせ市町は沿線に企業誘致等を考えている。市町が開発構想を持つ土地については、遊水地の候補地から外すことができるかなど、議論の余地が多く残されている。したがって、遊水地の社会的影響を十分検討した上で、再検討すべきである。</p> <p>○意見③ 2-1に記載されている「（将来の遊水地等が開発される恐れがある）」を削除していただきたい。 【意見③の理由】 治水の目標など選択方式により意見聴取する場合、選択肢に「（将来の遊水地等が開発される恐れがある）」を記載するのは、2-1の選択肢のみデメリットを示しており、公平ではない。また、遊水地の社会的影響を検討していない現状では、主観的な意見が記載されていることになり、適切な意見聴取の障害となりがねない。したがって、削除されたい。</p>	

第2回木曾三川整備計画策定説明会で頂いた意見等

平成19年10月3日現在

県名	市町名	意見・要望内容	備考
岐阜県	中津川市	<p>河川は、それぞれの河川管理者が、それぞれの計画を持って現在整備がされています。</p> <p>今回このような形で木曾、長良、揖斐川の流域ごとの整備計画が立てられ、方向性を持って整備されることは意義あることであると思います。</p> <p>そして、下流域に住む方の生命、財産を守る上で河川の整備、下流域での浚渫や、河道拡幅、ボトルネックの解消も当然必要であります。一方では降雨による土砂の流出も河川管理の課題であり、土砂流出を抑制するための対策を検討し、状況の把握、分析を行い今後の計画的な土砂流出防止の実施も併せて望むものです。</p>	
	下呂市	<p>堤防強化について 例題に飛騨川上流部の堤防強化（護岸強化）整備を追加願いたい</p> <p>河川流量の再生について 例題図に飛騨川上流部を表示願いたい</p> <p>数年前から、中電、漁協、行政で協議を重ねております。</p>	瀬戸ダム等
	恵那市	河川整備計画において、建設されるダム上流域の整備についても記述されたい。	
	北方町	近年の地球温暖化傾向により異常気象、過去経験し得なかった災害、水害が各所で発生するなか、また現在予測される、東海地震・東南海地震に備え、過去における水害経験や、河川整備状況等、国が管理する河川についての整備について、早期の改修をお願いします。また洪水時における情報伝達、周知について情報提供の敏速化を図られる要望いたします。	
三重県		ダム・導水路事業など既に計画されている大規模事業について、河川整備計画において内容・実施時期など明記されるようお願いする。	
		基準地点が各河川1箇所設けられているが、河川の合流地点等における現況流下能力、目標流量について示されたい。また、指定区間となっている支川の流下能力をどう評価しているか確認したい。	
		各河川の戦後最大洪水の確率規模について、資料の提示により明らかにされたい	
		支川について、近年の被害状況、改修状況、本川とのバランスを踏まえてとあるが、影響範囲の改修については直轄で改修するのか確認したい	
		ダムの洪水調整により、水位が高くなる時間が長くなる事による内水対策（支川排水対策）について計画に記載されたい	
		内水対策に係る整備基準、整備目標について明らかにされたい	
		堤防の耐震化の推進について、現況の耐震性能について報告いただき、対策の必要な区間については河川整備計画において内容・実施時期など明記されるようお願いする。	
		耐震化の推進について、東海・東南海等の近い将来に発生が懸念される以外のは想定されるのか。活断層に対する対応、地震調査についても明らかにされたい	
	ダム・導水路事業の実施についてコスト縮減に努めていただきたい		
三重県	木曾岬町	河川環境の保全整備	
		浸透・漏水対策 川表の止水壁の強化を	
		堤防強化 河口部の高潮対策を（高潮洪水シュミレーションの検討）	
		ハード対策 木曾川下流部における防災ステーションの充実を。	
		自然再生事業 木曾川下流部における干潟再生、ヨシ原再生の充実を。	
	桑名市	・治水の主要な整備メニュー（案）としてⅢネック解消①横断工作物を改築となっています。桑名市内には木曾三川に架かる道路橋、鉄道橋がたくさんあります。その中でも伊勢大橋は中部地整内で橋長15m以上の中で12番目の老朽橋であり、その前後は高潮堤防として整備中であります。このため、高潮災害時に弱点となっている伊勢大橋の早期の架け替えを要望いたします。	